

2025（令和7）年10月24日
科学技術振興機構（JST）

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援 2025年度新規採択プラットフォームの決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援の2025年度募集における採択プラットフォームを決定しました。

本プログラムは、大学から生まれる優れた技術シーズの実用化を目指すアントレプレナーシップ^注を有する人材の育成を強力に支援し、社会変革や社会課題解決につながる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目的とします。

本年度の募集は2025年6月30日（月）から7月31日（木）まで行い、2件の応募がありました。外部専門家で構成された委員会による審査を実施し、2件の採択プラットフォームを決定しました（別紙）。

今後、契約などの条件が整い次第、支援を開始する予定です。

事業の詳細は以下ウェブページをご覧ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/index.html>

注) アントレプレナーシップ

起業家精神と訳されることが多いですが、起業に限らず、新事業創出や社会課題解決に向け、新たな価値創造に取り組む姿勢や発想・能力などを指します。

<添付資料>

別紙：研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型
スタートアップ・エコシステム形成支援 2025年度採択プラットフォーム一覧

参考：研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型
スタートアップ・エコシステム形成支援 概要

<お問い合わせ先>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

金山 晋司（カナヤマ シンジ）

E-mail : su-ecosys@jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援
2025 年度採択プラットフォーム一覧

(プラットフォーム名：アルファベット順)

プラットフォーム名 Inland Japan Innovation Ecosystem-Nexus (IJIE-Nexus)
主幹機関 【信州大学】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括責任者 理事（研究、産学官・社会連携担当） 清水 聖幸 ・ プログラム代表者 学術研究・産学官連携推進機構 特任教授 角田 哲啓
共同機関 山梨大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、株式会社信州 TLO
幹事自治体 長野県、長野市、松本市
全体概要 IJIE-Nexus では、甲信・北関東地域において「アントレプレナーシップの醸成」、「コンピテンシーの形成」、「社会実践」の各段階に応じたアントレプレナーシップ人材育成プログラムを構築し、小中高生や高校生、大学生、社会人などに幅広く社会課題解決や起業に必要となるスキル習得の機会を提供する。信州スタートアップステーションや自治体が域内に設置している複数のスタートアップ支援拠点とのネットワーク構築により、甲信・北関東地域の起業に関心をもつ者が支援拠点にアクセスできる環境を整備し、ビジネスモデルの仮説検証のための試作の実施などが可能な環境を実現する。さらに、産学官金の連携により、地域に独自のイノベーションエコシステムを構築し、社会を変える地方発のスタートアップを持続的に創出する体制を構築する。
プラットフォーム名 Tech Startup HOKURIKU (TeSH)
主幹機関 【金沢大学】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括責任者 学長 和田 隆志 ・ プログラム代表者 理事（研究・社会共創・大学院支援担当）・副学長 中村 慎一 【北陸先端科学技術大学院大学】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括責任者 学長 寺野 稔 ・ プログラム代表者 理事（研究振興・社会連携担当）・副学長 永井 由佳里

共同機関

富山大学、福井大学、富山県立大学、石川県立大学、金沢美術工芸大学、公立小松大学、金沢工業大学、金沢医科大学、福井工業大学、富山高等専門学校、石川工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、株式会社ガイアックス

幹事自治体

富山県、石川県、福井県

全体概要

アントレプレナーシップ人材育成プログラムでは、「高校－大学接続」から「起業準備」までの8つのフェーズに体系化し、プラットフォーム内でプログラムをアーカイブ・共有し、各機関の優れた教育リソースを活用しつつ、独自性あるプログラムの開発を推進する。北陸拠点（金沢駅西口）や首都圏拠点（CIC Tokyo）、金沢大学の社会共創施設（未来知実証センター）、北陸先端科学技術大学院大学が整備する施設（J イノプラ 3）を活用し、学生や研究者がプロトタイプ開発や事業創出に取り組める環境の拡充を図る。将来的には、北陸地域が先進的なアントレプレナーシップ人材育成拠点として全国的に認知され、持続的に起業家人材が輩出されるとともに、大学・高専発スタートアップや成長企業の中核人材が次々と生まれるスタートアップ・エコシステムの構築を目指す。

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援 概要

1. 目的・概要

本プログラムでは、イノベーションの創出をけん引するアントレプレナーシップを有する人材の育成や社会課題の解決につながるインパクトの大きいスタートアップを継続的に創出する基盤を構築するため、スタートアップ・エコシステム拠点都市においてプラットフォームを構築する参画機関に対し、アントレプレナーシップを有する人材の育成とスタートアップ創出に一体的に取り組むために必要となる支援を実施します。

具体的には以下の支援を行います。

(1) アントレプレナーシップ醸成のための人材育成プログラムの開発・運営など

学生・教職員・社会人・高校生などに対してアントレプレナーシップを醸成することを目的とし、社会課題の発見力、起業活動やスタートアップへの理解増進、課題解決に向けての思考法や汎用的スキルの習得などを促し、起業を目指す者には専門知識・ノウハウの取得機会を提供するアントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営を行います。

(2) 起業環境の整備

拠点都市において、起業を志す研究者や学生が、事業化に向けた準備・検討を行う際に必要な、相談窓口の設置や設備機器の利用、起業活動の場を活用したアントレプレナーシップ人材育成プログラムの実施など、より効果的な起業環境を整備します。

(3) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

産学官金のステークホルダーとのネットワークを構築し、将来的なスタートアップ・エコシステム拠点都市への貢献を目指した計画を策定・推進します。

プラットフォーム内でアントレプレナーシップ人材育成プログラムが効果的に機能する仕組みを構築し、アントレプレナーシップ人材育成プログラムを共同開発・運営する仕組み、起業家・投資家・地域関係者が集うコミュニティやネットワーキングイベントの実施などを通じて、スタートアップ・エコシステムの形成を推進します。

2. 応募対象

スタートアップ・エコシステム形成支援の支援を受けていない大学等の研究機関を中心とした複数機関が連携して形成したプラットフォームを公募対象とする。

3. 支援期間

契約開始日～2027年度末まで

4. 支援額

1プラットフォーム当たり最大1億2千万円程度／年（直接経費）

以上